

## 文化・芸術

### 「パンクのポートレート」

2021年、アクリル・カンバス  
90・9センチ×72・7センチ

唐澤龍彦 (1964年)

大川美術館では2020年から毎年「桐生のアーティスト」と題して、桐生出身あるいは在住のアーティストたちによるグループ展を開催しています。今年も10月7日から、「桐生のアーティスト2023 KIRYU DAYS」を開催します。

そして今回は、同時開催として「特集展示：桐生のアーティスト大収穫祭」と題し、これまでこのグループ展に参加したアーティストたちの作品も展示します。唐澤龍彦氏は、「Kiryu POP」展(21年)の出品アーティストです。彼は、本業の会社経営の傍ら、絵画、イラストを描き、映像を制作し、ジャズのキーボードも弾いて歌うという、実に多芸多才。欧米の小説やコメディイが好きだという同氏の作品はウイットに富み、温かなユーモアがあります。

ちよどぎャラリー・オマドーン(宮本町一丁目4の13)で「唐澤龍彦作品展―物語へ」が開催中(土・日曜開廊、9月24日まで)。小説の挿絵を思わせる、しゃれた小品が並んでいますので、くすくと笑ってください。

(田中)

### 《名画の扉》

大川美術館特集展示「桐生のアーティスト大収穫祭」から

